



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2023年2月10日

上場会社名 リスクモンスター株式会社  
 コード番号 3768 URL <https://www.riskmonster.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 太一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 吉田 麻紀  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,826	1.1	454	18.2	446	22.3	294	23.5
2022年3月期第3四半期	2,797	5.3	555	2.6	574	1.4	384	2.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 173百万円 ( 52.7%) 2022年3月期第3四半期 367百万円 ( 55.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	38.73	38.70
2022年3月期第3四半期	51.41	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	6,870	5,971	86.1	782.82
2022年3月期	6,940	5,894	84.1	774.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,914百万円 2022年3月期 5,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.50	14.50
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				14.75	14.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	0.1	550	17.9	530	23.6	345	24.8	45.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.13「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	7,636,922 株	2022年3月期	7,546,922 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	82,068 株	2022年3月期	6,468 株
------------	----------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	7,593,418 株	2022年3月期3Q	7,479,681 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.8「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(会計上の見積りの変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
3. 補足情報 .....	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、景気の緩やかな持ち直しがみられるものの、資源高と円安を背景とする原材料コストの増加や人手不足による人件費増加などから、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ2021年度から2025年度までの長期ビジョン「RismonG-30」、その達成に向けたマイルストーンである2021年4月にスタートした3ヶ年計画「第7次中期経営計画（2021～2023年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・中国において「日本企業情報RMナビ」を提供開始（4月）
- ・与信先モニタリングサービスのお見舞金を倍増、支払対象のRM格付を拡大（4月）
- ・書籍「取引先リスク管理Q&A（第2版）」を出版（5月）
- ・書籍「業種別審査ノートVol.1（第3編）」を出版（5月）
- ・「反社APIサービス」提供開始（6月）
- ・システム構築・運用管理、ブロックチェーン関連技術サービスを提供するアイクラフト株式会社への資本参加（6月）
- ・11期連続の増配となる1株当たり14.5円の配当を実施（6月）
- ・J-MOTTOサービスが「IT導入補助金2022」に認定（6月）
- ・6月に発覚したサイバックスUniv. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに関して、必要な対策を講じて収束。また、経営責任を明確にするため代表取締役の役員報酬の一部自主返上を決定（9月）
- ・利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）が設立10周年（9月）
- ・J-MOTTOグループウェアのスケジュールと「Microsoft Teams」のカレンダーとの連携機能を提供開始（9月）
- ・クラウドサービスセキュリティの国際規格「ISO/IEC27017:2015」認証取得（9月）
- ・与信管理APIサービスがSaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」との連携開始（10月）
- ・中国において企業情報に変動があった場合のモニタリングサービス「変動通知オプション」を提供開始（11月）
- ・格付ロジック改定（12月）
- ・自己株式の取得を決議（12月）
- ・当第3四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
  - 「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査結果（4月）
  - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（5月）
  - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
  - 「隣の芝生（企業）は青い」調査結果（6月）
  - 「20年ぶりの円安進行に関する影響」調査結果（6月）
  - 「週休3日制に関する意識」調査結果（6月）
  - 「アフターコロナの働き方」調査結果（7月）
  - 「DX認定企業」分析結果（7月）
  - 「FIREへの憧れ」調査結果（8月）
  - 「金持ち企業ランキング」調査結果（8月）
  - 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」調査結果（10月）
  - 「借金王ランキング」調査結果（10月）
  - 「コミュニケーション不足に関する影響」調査結果（11月）
  - 「尊敬できる上司に関する意識」調査結果（12月）
  - 「企業の取引リスクに対する意識」調査結果（12月）
- ・当第3四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
  - 「業務用機械器具製造業」（4月）
  - 「不動産賃貸・管理業」（5月）
  - 「医療業」（6月）
  - 「非鉄金属製造業」（7月）
  - 「情報サービス業」（8月）
  - 「化学工業」（9月）
  - 「石油製品・石炭製品製造業」（10月）
  - 「パルプ・紙・紙加工品製造業」（11月）
  - 「映像・音声・文字情報制作業」（12月）

また、当社は、「第7次中期経営計画（2021～2023年度）」の基本方針に沿った取り組みに加え、「Rismon G-30」に掲げた目標を実現するため、「DX（デジタルトランスフォーメーション）への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- ・「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
- ・「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
- ・「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」

具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして以下を実施いたしました。

- ・「反社APIサービス」提供開始（6月）
- ・与信管理APIサービスがSaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」との連携開始（10月）

<連結業績について>

当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高（千円）	2,797,216	100.0	2,826,603	100.0	101.1
営業利益（千円）	555,383	19.9	454,182	16.1	81.8
経常利益（千円）	574,918	20.6	446,572	15.8	77.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益（千円）	384,494	13.7	294,056	10.4	76.5

	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計（注）	14,285	13,862	△423

（注）会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

（売上高）

ビジネスポータルサイト事業、BPOサービス事業、その他サービスが順調であったこと等から、連結の売上高は2,826,603千円（前年同期比101.1%）となりました。

（利益）

サービスシステム増強やセキュリティ強化のための投資を実施したことや、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等の増加、与信管理サービス事業及び教育関連事業の売上高減少等により、営業利益は454,182千円（前年同期比81.8%）、経常利益は446,572千円（前年同期比77.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は294,056千円（前年同期比76.5%）となりました。

（会員数合計）

会員数につきましては、与信管理サービス事業は増加したものの、教育関連事業は代理店のサービス提供終了による影響などから減少したため、全体では前年同期と比べ423ID減少し、13,862会員となりました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

当社グループのセグメントを、1. 法人会員向けビジネスと2. その他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び ウ) 教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計（千円）	2,398,205	2,231,026	93.0
法人会員向けビジネス利益合計（千円）	611,017	530,097	86.8

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	13,860	13,425	△435

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	1,368,429	1,230,610	89.9
コンサルティングサービス（千円）	381,750	353,674	92.6
売上高合計（千円）	1,750,180	1,584,284	90.5
セグメント利益（千円）	373,710	311,876	83.5

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス（注）	7,101	7,272	171

（注）サービス相互提携を行う会員を含む

当第3四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は1,584,284千円（前年同期比90.5%）、セグメント利益は311,876千円（前年同期比83.5%）となりました。

ASP・クラウドサービスは、入会数は予定通り増加しているものの、前期に比べ退会数が増加したこと、一部のサービスが終了になったこと、また、サービスリニューアルに伴うキャンペーンによる割引提供を実施したため、1,230,610千円（前年同期比89.9%）となりました。

コンサルティングサービスは、反社チェックを含む企業情報代行取得が順調だったものの、サブスク契約への移行によりASPクラウドサービスの利用に移行したこと、前期は取引先信用情報管理の短期間モニタリングサービス等の受注があったため、353,674千円（前年同期比92.6%）となりました。

セグメント利益は、独自データベースを主としたサービス移行に伴い企業情報取得に係る原価は減少したものの、売上高が減少したこと、また、サービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等が増加したため、311,876千円（前年同期比83.5%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	426,516	436,302	102.3
その他（千円）	26,544	26,271	99.0
売上高合計（千円）	453,061	462,573	102.1
セグメント利益（千円）	179,496	181,413	101.1

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）	3,162 (144,532)	3,119 (145,269)	△43 (737)

（注）（ ）は外数でユーザー数

当第3四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）の売上高の合計は462,573千円（前年同期比102.1%）、セグメント利益は181,413千円（前年同期比101.1%）となりました。

大容量プランへ移行した会員の利用料が積み上がったため、グループウェアは堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

セグメント利益につきましては、売上高が堅調だったことに伴い、前年同期を上回りました。

ウ) 教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計（千円）	194,964	184,168	94.5
セグメント利益（千円）	57,809	36,807	63.7

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
教育関連	3,597	3,034	△563

当第3四半期連結累計期間の教育関連事業の売上高は184,168千円（前年同期比94.5%）、セグメント利益は36,807千円（前年同期比63.7%）となりました。

定額制サービスは利用料が積み上がり、会員あたり単価も増加したものの、従量制サービスにつきましては、代理店のサービス提供終了による影響及び利用が少なかった会員数が減少したこと、サイバックスU n i v. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応のため、9月までの約3ヶ月間、新規の営業活動を抑制していたこと等から売上高は前年同期を下回りました。

セグメント利益につきましては、サービス充実のための提供コンテンツ増加により原価が増加したことや、サイバックスU n i v. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応コストが発生したため、前年同期を下回りました。

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ) BPOサービス事業及び オ) その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は437会員となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	599,559	896,309	149.5
その他ビジネス利益合計（千円）	37,273	50,688	136.0

その他ビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

エ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計（千円）	423,104	645,681	152.6
セグメント利益（千円）	33,795	41,009	121.3

当第3四半期連結累計期間のBPOサービス事業の売上高は645,681千円（前年同期比152.6%）、セグメント利益は41,009千円（前年同期比121.3%）となりました。

株式会社シップスを前第2四半期末に連結子会社とし、前第3四半期から同社の損益を取り込んでおり、また、与信管理サービス事業の独自データベース増強などグループのコスト削減に貢献するサービス提供が増加したことから、売上高は前年同期を大きく上回りました。それに伴い、セグメント利益も前年同期を大きく上回りました。

オ) その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	176,454	250,627	142.0
セグメント利益（千円）	3,478	9,679	278.3

当第3四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は250,627千円（前年同期比142.0%）、セグメント利益は9,679千円（前年同期比278.3%）となりました。

グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、スポットのコンサルティングサービスを受注したこと、また、グループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、円安の影響も受け、売上高は前年同期を大きく上回りました。それに伴い、セグメント利益も前年同期を上回りました。



(2) 財政状態に関する説明

		前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額
資産合計（千円）	流動資産（千円）	2,734,080	2,679,992	△54,088
	固定資産（千円）	4,205,973	4,190,728	△15,245
資産合計（千円）		6,940,053	6,870,720	△69,333
負債合計（千円）	流動負債（千円）	579,424	518,239	△61,185
	固定負債（千円）	465,800	381,003	△84,796
負債合計（千円）		1,045,225	899,243	△145,982
純資産（千円）		5,894,827	5,971,477	76,649
負債純資産合計（千円）		6,940,053	6,870,720	△69,333

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ54,088千円減少し、2,679,992千円となりました。これは主に、現預金の減少によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ15,245千円減少し、4,190,728千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ69,333千円減少し、6,870,720千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ61,185千円減少し518,239千円となりました。これは主に、未払金が減少したことによるものです。固定負債は84,796千円減少し381,003千円となりました。これは主に、その他に区分している繰延税金負債が減少したことによるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ145,982千円減少し、899,243千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べ76,649千円増加し、5,971,477千円となりました。また、自己資本比率は86.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高はその他ビジネスが順調に推移していることから、全体ではほぼ前期並みでの着地が見込まれるものの、主に利益率の高い与信管理サービス事業の売上高減少に伴い、利益が当初の予想を下回る見込みとなりました。

当連結会計年度の与信管理サービス事業は、株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消を理由として前期に比べ退会数が増加したものの、第3四半期以降の退会は収束しつつあり、新規の入会数は予定通り増加しております。しかしながら、一部サービスの提供が終了になったことや、リニューアルキャンペーンとして一部サービスの割引提供を実施したことから、退会会員分の売上高を補うまでには至らず、売上高減少となりました。

また、教育関連事業につきましては、6月に発覚した個人情報漏えいに係る対応のため、9月までの3か月間、新規の営業活動ができなかったことが売上高減少に影響いたしました。

コストにつきましては、業務提携解消により、独自データベースの活用や新たなサービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、サービスリニューアルや独自データベース拡充・増強への投資、また、セキュリティ強化のための投資を実施したこと、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費用等が増加したため利益を押し下げました。

以上のことから前回予想を下回る見込みとなりましたので、本日（2023年2月10日）「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表の通り、通期の業績予想を修正いたしました。

なお、配当につきましては、前回公表値（1株当たり14.75円）より変更なく、12期連続増配予定であります。

この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2023年3月期前回発表予想（A）	4,000	690	700	465
2023年3月期今回修正予想（B）	3,750	550	530	345
増減額（B-A）	△250	△140	△170	△120
増減率（％）	△6.3	△20.3	△24.3	△25.8
（ご参考）前期実績 2022年3月期	3,745	669	693	459

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,153,476	2,058,826
受取手形、売掛金及び契約資産	488,258	480,628
原材料及び貯蔵品	10,776	13,435
その他	82,247	127,680
貸倒引当金	△678	△578
流動資産合計	2,734,080	2,679,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	586,364	586,349
減価償却累計額	△162,279	△176,531
建物及び構築物（純額）	424,084	409,818
工具、器具及び備品	373,399	373,601
減価償却累計額	△298,805	△305,804
工具、器具及び備品（純額）	74,593	67,797
土地	568,352	568,352
リース資産	4,713	4,713
減価償却累計額	△2,029	△2,618
リース資産（純額）	2,684	2,095
有形固定資産合計	1,069,714	1,048,063
無形固定資産		
のれん	52,375	48,240
ソフトウェア	931,916	1,060,009
その他	420,663	533,786
無形固定資産合計	1,404,955	1,642,036
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,486	1,401,912
その他	91,154	99,148
貸倒引当金	△338	△433
投資その他の資産合計	1,731,303	1,500,627
固定資産合計	4,205,973	4,190,728
資産合計	6,940,053	6,870,720

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	308,249	238,746
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	79,048	64,703
賞与引当金	1,596	1,461
その他	130,369	153,169
流動負債合計	579,424	518,239
固定負債		
長期借入金	95,320	57,700
退職給付に係る負債	26,571	29,735
その他の引当金	14,769	18,499
その他	329,140	275,068
固定負債合計	465,800	381,003
負債合計	1,045,225	899,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,188,168
資本剰余金	795,514	828,493
利益剰余金	3,054,963	3,239,683
自己株式	△4,494	△56,715
株主資本合計	5,001,976	5,199,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	815,376	694,834
為替換算調整勘定	20,172	19,589
その他の包括利益累計額合計	835,548	714,423
新株予約権	286	286
非支配株主持分	57,016	57,137
純資産合計	5,894,827	5,971,477
負債純資産合計	6,940,053	6,870,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,797,216	2,826,603
売上原価	1,277,208	1,319,302
売上総利益	1,520,007	1,507,300
販売費及び一般管理費	964,624	1,053,118
営業利益	555,383	454,182
営業外収益		
受取利息	513	73
受取配当金	16,741	12,626
投資事業組合運用益	18,803	596
その他	630	1,041
営業外収益合計	36,689	14,338
営業外費用		
支払利息	1,743	1,132
コミットメントフィー	2,172	2,112
支払手数料	7,000	16,176
為替差損	2,467	2,143
その他	3,771	383
営業外費用合計	17,154	21,948
経常利益	574,918	446,572
特別利益		
投資有価証券売却益	1,217	107
特別利益合計	1,217	107
特別損失		
固定資産除却損	209	1,388
投資有価証券売却損	647	2,621
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	856	4,009
税金等調整前四半期純利益	575,279	442,670
法人税、住民税及び事業税	127,624	153,131
法人税等調整額	60,867	△5,547
法人税等合計	188,492	147,584
四半期純利益	386,786	295,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,291	1,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	384,494	294,056

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	386,786	295,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,658	△120,462
為替換算調整勘定	3,633	△767
その他の包括利益合計	△19,024	△121,229
四半期包括利益	367,762	173,856
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,562	172,931
非支配株主に係る四半期包括利益	3,200	925

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数の変更）

無形固定資産のその他に含まれる独自データベースコンテンツは、従来、耐用年数を3年としておりましたが、与信管理サービス事業のサービスリニューアルに伴い、耐用年数を見直し、第1四半期連結会計期間より5年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18,710千円増加しております。

（セグメント情報等）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネス ポータルサ イト（グル ープウェア サービス 等）	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	1,365,889	424,689	-	-	1,790,578	-	1,790,578	-	1,790,578
コンサルティング サービス	377,833	-	-	-	377,833	-	377,833	-	377,833
その他	-	26,364	185,206	348,884	560,455	68,348	628,804	-	628,804
顧客との契約から 生じる収益	1,743,723	451,053	185,206	348,884	2,728,867	68,348	2,797,216	-	2,797,216
外部顧客への売上高	1,743,723	451,053	185,206	348,884	2,728,867	68,348	2,797,216	-	2,797,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,456	2,007	9,758	74,220	92,443	108,105	200,548	△200,548	-
計	1,750,180	453,061	194,964	423,104	2,821,310	176,454	2,997,765	△200,548	2,797,216
セグメント利益	373,710	179,496	57,809	33,795	644,812	3,478	648,290	△92,907	555,383

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

BPOサービスセグメントにおいて、第2四半期連結会計期間に株式会社シップスの全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において53,753千円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。



Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）  
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネス ポータルサ イト（グル ープウェア サービス 等）	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	1,227,628	434,477	-	-	1,662,105	-	1,662,105	-	1,662,105
コンサルティング サービス	350,509	-	-	-	350,509	-	350,509	-	350,509
その他	-	25,591	179,857	517,203	722,651	91,337	813,989	-	813,989
顧客との契約から 生じる収益	1,578,137	460,068	179,857	517,203	2,735,266	91,337	2,826,603	-	2,826,603
外部顧客への売上高	1,578,137	460,068	179,857	517,203	2,735,266	91,337	2,826,603	-	2,826,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,146	2,505	4,311	128,478	141,442	159,289	300,731	△300,731	-
計	1,584,284	462,573	184,168	645,681	2,876,708	250,627	3,127,335	△300,731	2,826,603
セグメント利益	311,876	181,413	36,807	41,009	571,107	9,679	580,786	△126,604	454,182

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	377,383	656,373
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△421,227	△552,525
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△255,753	△195,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△605	△3,233
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△300,202	△94,649
現金及び現金同等物の期首残高	2,443,729	2,052,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,143,527	1,957,577

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 575,279</p> <p>減価償却費 303,302</p> <p>未払金の減少額 △138,947</p> <p>法人税等の支払額 △320,344</p> <p>※2 無形固定資産の取得による支出 △469,431</p> <p>投資有価証券の取得による支出 △90,800</p> <p>投資有価証券の売却による収入 80,958</p> <p>連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 43,321</p> <p>※3 配当金の支払額 △104,316</p> <p>長期借入金の返済による支出 △108,896</p> <p>短期借入金の返済による支出 △40,000</p>	<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 442,670</p> <p>減価償却費 387,459</p> <p>未払金の減少額 △62,518</p> <p>法人税等の支払額 △161,649</p> <p>法人税等の還付額 11,628</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △25,196</p> <p>無形固定資産の取得による支出 △590,634</p> <p>投資有価証券の売却による収入 47,797</p> <p>※3 配当金の支払額 △109,116</p> <p>自己株式の取得による支出 △45,761</p> <p>長期借入金の返済による支出 △37,620</p>